

令和5年度

「六郷氏・岩城氏・打越氏 由利本荘市入部400年記念事業」について

元和9年(1623年)、現在の由利本荘市に六郷氏・岩城氏・打越氏が入部してから、令和5年(2023年)で400年の節目を迎えます。

ひとつの市に、かつて3人の領主が統治し、それぞれ特色ある歴史と文化を受け継いでいる市は全国でも珍しいことです。

この400年という節目を市全体でお祝いするとともに、郷土の特色ある歴史と文化に対する理解を深め、ふるさと由利本荘に対する愛着と誇りを醸成し、401年目に向けた新たな由利本荘市のスタートの年として「希望あふれる由利本荘市の未来を創造」し、世界に向けて自信と誇りを持って本市の魅力を発信してまいります。



入部400年記念事業ロゴマーク

実施期間 令和5年4月～令和6年3月

実施場所 本荘地域・岩城地域・矢島地域を中心とした市内全域

実施内容 ①記念大会の開催

(令和5年10月22日に文化交流館カダレで開催予定)

- ②資料館等での企画展や歴史講座等の開催
- ③「本荘さくらまつり」等、冠事業の開催
- ④ポスターやチラシ、のぼり旗、看板、缶バッチ等を活用した事業PR
- ⑤ゆりほんテレビでの史跡紹介や広報ゆりほんじょうでのコラム掲載などによる情報発信



▲
三氏入部の歴史的経緯
などは市ホームページで

入部400年記念事業キャッチフレーズ
つむ
「時を紡いで400年 輝く未来へ由利本荘」